

## 昨年のリベンジ そしてさらなる高みへ

イバラキ ユニバーシティ レーシング

Ibaraki University Racing

<http://www.iur-family.com/>



### 今回の総合結果・部門賞

- 総合 12 位
- 日本自動車工業会会長賞
- プレゼンテーション賞 3 位
- 加速性能賞 1 位

### Profile チーム紹介・今までの活動

私たち Ibaraki University Racing は 2004 年に発足し、今年で 10 年目を迎えるチームです。昨年度はエンデュランス審査において途中リタイヤという結果に終わってしまいましたが、今年度大会は完走することができました。来年は総合優勝をめざして努力して参ります。

### Team-member チームメンバー

#### 山崎 達也 (CP)

西野 創一郎 (FA)、田村 勇平、北川 悠乃、北島 大己、堀田 哲哉、初見 貴、永井 洋輔、渡邊 彰俊、森谷 紘瑛、増谷 友、江口 勇仁、柴田 直人、前田 祥宏、江波戸 達哉、菊池 拓、今野 将彦、村田 和輝、小田中 竜士、田中 碩人、坪井 延晃、石川 諒、杉山 航、長沢 恵、小林 三織

### Sponsors スポンサーリスト

スズキ、ソリッドワークスジャパン、深井製作所、東プレ、村田工業所、住鋤潤滑剤、南高野医院、エフテック、茨城トヨタ、太洋工業、浅野、今橋製作所、照栄製作所、NUTEC Japan、丸紅情報システムズ、愛和精密製作所、堀田電機製作所、相鐵、富士精密、大川精機工業、ウィット、水戸精工、エムテック、UACJ、ACS、トコラ、IDAJ、大洗サーキット、テック

### Presentation プレゼンテーション

マシン名：IUTY10

IUTY10 は「コーナリング性能の追求～ドライバーの意のままに～」というコンセプトのもと、車両の製作を行いました。コーナリングには車の基本性能である「走る、曲がる、止まる」が全て含まれており、総合性能の高いマシンを製作するにはコーナリング性能を追求することが不可欠と考えています。また、副題のもと「とにかく乗りやすいマシン」を目標に設計をしました。

今年度の新しい取り組みとして、左右対称レイアウトをめざしました。左右の重量差を無くすことで、ドライバビリティの向上、さらに重量物を左右に等しく配置し車両重心を下げるのが狙いです。結果として左右の輪荷重差を 1kg に抑える事ができ、重心を 8mm 下げることができました。しかし、車両重量の増加や、エキゾーストとラジエター部品の干渉など、多くの問題があり、まだまだ改善の余地があります。

また、既存の部品全てを見直し、高剛性、軽量化の余地を吟味し、それぞれ細かいアップデートを行い、昨年度より確実に進化したマシンに仕上がっています。

### Participation report 参戦レポート

1 日目の車検では修正箇所が 2 点ありましたが、簡易な修正で済んだのですぐに修正を行いました。しかし、事前車検の開始時間の都合上、全ての車検審査を受けることができず初日はこのまま終了しました。

2 日目は前日に残した車検審査を受け、すんなりとはいきませんでした。静的審査では、大会前の準備にあまり時間をかけることができず順位を落とす結果となってしまいました。しかしプレゼンテーション審査におきましては 3 位を獲得することができ、表彰台に上がることができました。

3 日目の動的審査では、アクセラレーション審査におきまして創部以来初の 1 位を獲得することができました。また、オートクロス審査では 6 位を頂くことができましたので、昨年度に引き続きファイナルに残ることができました。

4 日目は、プラクティスや整備を中心に行い 5 日目のエンデュランス審査に臨みました。エンデュランス審査では、オーバーフロー等の熱問題に不安を抱えつつも、大きな問題もなく無事に完走することができました。昨年度が途中リタイヤでしたので、部員全員大変喜びました。

しかし、結果としては総合優勝には届きませんでした。全種目完走は達成したものの、動的審査では昨年度のタイムにはおおよそ、静的審査でも順位を落としております。課題を克服し、来年度は総合優勝できるようチームづくりに励んで参ります。

スポンサーの皆様、関係者の皆様、OB・OGの皆様、1 年間誠にありがとうございました。